



# 聖母ニュース

編集・発行  
 社会福祉法人聖母会聖母病院  
 〒161-8521  
 東京都新宿区中落合2-5-1  
 TEL03-3951-1111  
<https://www.seibokai.or.jp>



2020年4月からの新体制  
 宮越 敬 副院長(産婦人科)・中澤 達 病院長(外科)・宮本大介 副院長(内科)

## ◆ 理 念 ◆

愛をもって病める人を癒されたキリストにならい、国籍、信仰、貧富を問わず、心の通う医療を提供して病める人々の身体的、精神的、社会的、霊的ニーズをみます。

## ◆ 基本方針 ◆

1. 生命を尊重し、最善の医療をおこないます。
2. 地域医療機関および福祉施設等と連携し、安心できる医療をおこないます。
3. 病院の理念に基づいて質の高い医療人を育成します。

## ◆ 患者様の権利と責務 ◆

患者様には次の権利が保障されています。

1. 平等かつ適切な医療を受けられます。
2. 人権が尊重されます。
3. 病気、治療について十分な説明が受けられます。
4. 医療内容を選択または拒否できます。
5. 個人情報やプライバシーが守られます。
6. セカンドオピニオンを求めることができます。

患者様へのお願い(責務)。

1. 適切な医療を受けるために、健康(病状)に関する情報を正しくお知らせください。
2. 医療行為に関して納得したうえで意思を明らかにし、指示に従ってください。
3. お互いによりよい治療と療養生活を送るために、定められた規則を守ってください。

## 聖書のことば

柔和な人は幸いである、  
 そのひとは地を受け継ぐであろう。

マタイ 5:5

Blessed are the gentle:  
 they shall have the earth as inheritance.  
 Matthew 5:5

## 熱をもて、誠をもて

副院長 産婦人科 宮越 敬

パンデミック感染症の身体的脅威のみならず社会経済、そして心理的影響力がいかに甚大かを痛感した年度始めとなりました。当院においても中澤病院長を中心とした新体制始動早々に診療機能縮小を余儀なくされましたが、幸いにも院内における感染防止を徹底できました。日々ネガティブな情報ばかりが先行しましたが、職員一人一人が視座を広げ、自分たちができること、なすべきことを考える絶好の機会となったように思います。また、多くの方々より賜りましたご支援に心から御礼申し上げます。

私たちは6月1日からを新年度とみなし、地域連携を基盤とした母子医療、内視鏡診療および緩和ケアの拡充を展開します。自身の専門領域・産科では胎児エコー・セミオープン妊婦健診・産痛緩和分娩・周産

期メンタルヘルスケアを推進します。“全てのがん患者”を対象とした緩和ケアチームも始動しました。外科では腹腔鏡手術による大腸癌治療も開始し、整形外科手術および術後リハビリテーションの受け入れ枠を拡大しました。そして、新医療体制に必須であるオンライン診療の準備も整いました。

「熱をもて、誠をもて」、「熱意・誠意があれば世の中は決して行き詰まらぬ」を信念とした細菌学者・北里柴三郎先生の言葉です。4月に新入職しました私も感染防止に向けた聖母病院の団結力に感銘を受けました。2031年、聖母病院は開設100周年を迎えます。笑顔あふれる次の10年に向け、熱意・誠意もち一步一步前進いたします。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

## 150号の内容

熱をもて、誠をもて	1	新型コロナのこと、そして産婦人科に	
麻酔科通信 第4回	2	新たな仲間が加わりました!	3
眼科通信 第4回	2	当院における新型コロナウイルス	
腹腔鏡手術についてのお話し	3	感染症対策について	4

## 麻酔科通信



### 産科の麻酔

麻酔科 一石典子

産科の麻酔には2種類あります。帝王切開術の麻酔と和痛分娩の麻酔です。当院では和痛分娩という言葉を採用していますが、ほぼ無痛分娩と同意語です。

通常、全身麻酔はもちろん意識はありませんが下半身麻酔であっても傾眠状態で手術が行われることが多いです。手術という特異な環境下でのストレスを軽減し、不必要な自律神経反射を抑えるためです。ところが帝王切開の麻酔は特別な場合以外全身麻酔は行いません。妊婦さんは程度の差はありますが全身にむくみがあります。そして胎児のために胃が圧迫され消化に時間がかかり、緊急手術の場合胃内に食物が残っていることが多々あり嘔吐しやすいからです。そのため通常の人に比べ全身麻酔は一段階難しいとされています。臍帯を通じて児に薬剤が投与されsleeping babyの可能性もゼロではありません。超緊急帝王切開術の場合は全身麻酔で行われますが必ず小児科医が立ち会います。下半身麻酔でも児の出生までは鎮静薬は原則として使

しません。それは児が覚醒した状態で生まれ、自身でしっかり呼吸をするためです。出産してしまえば鎮静薬や鎮痛薬を使うことができます。投与された薬剤が母乳から児に行くことはありますが通常の投与量では問題になりません。

和痛分娩は出産の痛みを取り、いきめるだけの筋力を残すことが目的です。背中から脊髄近くに局所麻酔薬を投与する硬膜外麻酔が一般的ですが麻酔をするからには合併症はゼロではありません。それに対ししっかりと準備し対処することが肝心です。分娩時間は1時間ほど長びくと言われていますが和痛分娩そのものが新生児に悪影響をおよぼすことはまずありません。数年前無痛分娩に伴う様々な出来事が新聞で報道されました。これに関し厚生省から安全な無痛分娩に関する提言がなされ現在様々なプロトコルが進行中です。当院でも提言に則り安全なお産を目指しています。

母親の体内にいた児が一瞬のうちに体外に出て、啼泣し、呼吸をするのはいつ見ても不思議で感銘を受けます。そして出産は母子ともに命を懸けた事業であると思つづく思います。

## 眼科通信



### 加齢黄斑変性症の症状、治療法について

眼科 越智正登

加齢黄斑変性症という病気を耳にしたことがある方もいると思います。テレビなどで紹介されることが多くなった病気ですが、実際どのような病気かという詳しくは知らない人が多いのではないのでしょうか。

加齢とついでにだけあって、加齢によって起こる疾患で誰にでも発症するリスクがありますが、喫煙、肥満、高血圧、日光暴露などの関連も指摘されています。眼の奥には網膜というカメラでいうフィルムの役割をする膜があり、中心部には黄斑という部分があります。黄斑部に障害がでてくることで眼症状を引き起こし、主な症状としては、物が歪んでみえたり、中心が暗く見えたりすることです。出血を起こすこともあり、急激な視力低下をみとめることもあります。

加齢黄斑変性症には、大きくわけて「萎縮型」と「滲出型」があります。「萎縮型」は、黄斑部が障害を受け、網膜が薄くなることで眼の症状として現れます。「滲出型」は、黄斑部に異常な血管(新生血管)が発生し、網

膜下に水がたまり、出血を引き起こすことで眼の症状として現れます。患者さんの多くは「滲出型」の加齢黄斑変性症です。

検査は、瞳孔を開いて眼の奥を観察する眼底検査や、OCT(光干渉断層計)という眼のCTで網膜の断層像を観察し、造影剤という色素を点滴して眼底の新生血管を観察することなどがあります。

治療に関してですが、「萎縮型」では現在、有効な治療法はありません。前述にあるように患者さんの多くは「滲出型」で、「滲出型」にたいしては、主に新生血管を抑制する薬剤(抗VEGF)を眼内に注射します。眼の中に注射をすると聞くと、すごく怖いと感じるかもしれませんが、手術自体は2、3分で局所麻酔も行い痛みもほとんどありません。問題点は、注射の効果は永続的なものではなく再発することがあり、繰り返し眼内注射が必要になることがあるため定期受診が必要なことです。

加齢黄斑変性症はときには失明に至る重篤な病気ではありますが、検査や治療の進歩により、早期発見、早期治療で良好な視力が守れるようになってきました。見え方などの異常を感じたら、放置せず眼科受診をお勧めします。

## 腹腔鏡手術についてのお話し

外科部長 田中敏明

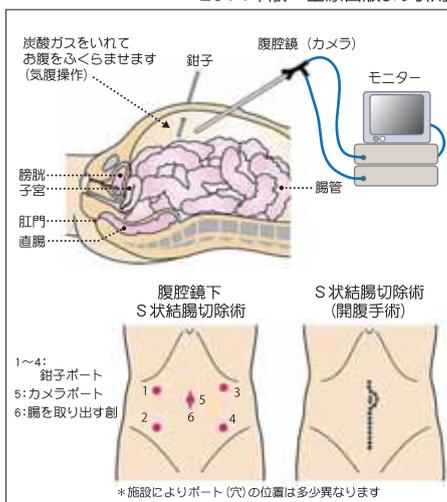
### ＜腹腔鏡手術の歴史＞

近年耳にすることが多い腹腔鏡手術ですが、その歴史は古く、日本では1948年に常岡健二先生がおなかの中を観察する目的で行ったのが最初です。その後、外科領域では、胆石、大腸癌、胃癌やヘルニア、肝臓切除なども保険で認められるようになりました。近年急速に広がった腹腔鏡下手術ですが、いったいどのような治療なのでしょう？

### ＜腹腔鏡手術とは＞

まず、二酸化炭素のガスでおなかを膨らませてスペースを確保します。その上で、おなかに開けた数カ所の孔から、モニターを見ながら鉗子(ハサミや臓器を把持する器械や電気メスなど)を用いて、手術を行う治療です。これにより手術後におなかに残る創は小さくなりました。

図：患者さんのための大腸癌治療ガイドライン 2014年版 金原出版より引用



### ＜腹腔鏡手術のメリット＞

創が小さくなれば体の組織の損傷も少ないので、結果的に体へ

の負担が少なくなり手術後の回復の早くなります。その他、腹腔鏡手術は開腹手術に比べて出血量が少なく、術後の痛みも軽減され、退院までの期間が短く、術後のおなかの中の癒着が少ないということが、明らかになっています。腹腔鏡手術は、とすればその小さな創により美容面で魅力が注目されがちです。しかし、それだけでなく、むしろこれら手術の経過に関連したメリットも多いのです。これらを総括して、「患者さんに優しい」と表現されているのでしょう。

### ＜腹腔鏡手術は“簡単な”手術？＞

「患者さんに優しい」と表現される腹腔鏡手術ですが、決して「簡単な」手術ではありません。視野はカメラで映し出される範囲のみに限られますし、二次元の画像です。さらにおなかの孔から入れた操作の鉗子(手術器械)は、動きに制限があり、直接臓器に触れること(=触覚)もできません。その不自由さをたとえるならば、狭い瓶の口からピンセットを用いて模型をくみ上げるようなものです。そのため、腹腔鏡手術はトレーニングを受けた習熟した医者が行うことが大事です。聖母病院では、胆石、大腸癌、虫垂炎、ヘルニアなどに対して技術を習得した外科医が腹腔鏡手術を行っています。



### ＜最後に＞

治療法を選択するとき何を重視して判断すべきでしょうか。まず、一番大事なのは安全性です。その次に大事なのは治癒率(きちんと病気を治せるか)です。さらに大事なのが合併症が少ないことです。これらがこれまで開腹手術と同等以上ということがわかってきたため、「患者さんに優しい」腹腔鏡手術という選択肢が広まってきました。聖母病院外科では、患者さん個人について検討を行い、これら安全性や治癒率の面も含めて腹腔鏡手術が適切と判断される場合、積極的に腹腔鏡手術を行っておりますので、疑問がありましたら担当医に御質問ください。

## 新型コロナのこと、そして産婦人科に 新たな仲間が加わりました！

産婦人科部長 増澤利秀

この4月から、慶應義塾大学医学部産婦人科で産科学の専任講師・副診療部長として、長年慶応の周産期医療を牽引してきた宮越敬医師が聖母病院に着任いたしました。これまで、当院で胎児の形態学的異常が認められた場合には、慶応義塾大学病院等の胎児診断外来へと紹介して、精密検査および診断を受けていただくというのが一般的な流れでした。今回、そうした精密検査・診断を大学で引き受けてきた宮越医師が、当院常勤医として勤務していただけることとなり、自院での十分な検査・診断が可能となりました。そして、自院で精密検査・確定診断を行いたいという聖母病院産婦人科の長年の懸案事項の一つが、解決されることとなりました。これからは、今まで以上に皆様安心して妊婦健診を受けていただけるようになると確信しております。

話は変わりますが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が中国で報告されてから、約半年が経過し、今世界中でその対応・対策に追われています。日本では、緊急事態宣言発令後、最近になり新規患者数の減少が認められ、緊急事態宣言も解除となり、一旦終息へと向かいつつあります。しかし、第二波の到来も予想される中、未だ予断を許さない状況と言えます。

ここでは新型コロナウイルスが妊娠に与える影響について、これまでに判明した知見について述べてみたいと思います。

一般的に妊娠中は細胞性免疫の低下等により免疫力が低下するとされており、妊娠は各種感染症に対してのハイリスクな状態と言えるかもしれません。また、感染症の中には、胎盤を介して胎児感染を引き起こし、流産や胎児奇形を引き起こすものもあり、一般的に妊婦さんはウイルスや細菌感染に注意しなければいけません。

同様のことが新型コロナウイルスに対しても言えると思われま。症例数は少ないものの、中国や米国からの新型コロナウイルス感染症と診断された妊婦に関する報告では、幸いにして妊娠していない同年齢の人と比べて重症度の比率が増加することはなく、妊娠の経過にも特に影響を及ぼすことはなかったということです。ただ、稀ですが母子感染を疑う症例もあること、また、妊娠初期に新型コロナウイルスに感染した場合の、胎児への影響については未知なる点も多々あることから、やはり感染を防ぐことが最も重要であり、個人レベルでの感染予防(三密を避ける、マスクの着用、頻回の手洗い・消毒等)は今後も継続する必要があるでしょう。

Don't let our guard down !



## 当院における、新型コロナウイルス感染症対策 について

聖母病院では地域住民の皆様の健康を守るため、職員一同全力を挙げて新型コロナウイルス感染症の対策に取り組んでおります。以下は当院の主な感染対策の取り組みです。厚生労働省の指導や「新しい生活様式」に基づいた対策を取り入れています。なにとぞご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

今後、対策を変更することがありますので、最新の情報は掲示等でご確認ください。



### ❖ 病院入口の制限

\*病院の入口を正面玄関に限定しています。第2駐車場、健診棟出入口は閉鎖しています。

### ❖ 来院される方の健康チェック

\*来院されたすべての方に、病院入口で発熱や咳などの症状、海外渡航歴、濃厚接触歴などの確認をさせていただきます。

### ❖ マスク着用をお願い

- \*病院内に入られる際には、マスク着用をお願いします。
- \*診察室の中でもマスクの着用をしてください。
- \*入院中の方は、個室に一人であるとき以外はマスクを着用してください。
- \*2歳未満のお子様にはマスクは危険なので、使用しないでください。

### ❖ 待合室の椅子の制限と付き添いの制限

- \*待合室の椅子の間隔をあけています。
- \*小児科・皮膚科待合室では案内に従ってお座りください。
- \*待合室の椅子の数を減らしているため、できるだけ付き添いの方はご遠慮ください。産婦人科では付き添いを原則禁止しています。

### ❖ 各窓口のビニール設営等、感染リスクの軽減

\*窓口等にビニール等を設置しています。

### ❖ 入院患者さんへの面会制限

- \*手術や検査・緊急時などの呼び出しや説明をうける方など、病院からの要請がある場合を除いて、面会を禁止しています。
- \*面会の方は来院前に体温を測定し、必ずマスクをご持参のうえ着用してください。

### ❖ 5階レストラン「シャローム」の利用制限

\*一般の方の立ち入りを禁止しています。

### ❖ 産前産後クラス中止

- \*すべての産前産後クラスを中止しています。
- \*母親学級の動画をウェブ配信しています。妊婦健診の際にお尋ねください。

### ❖ 小児科夕方外来の休診

\*小児科受診の方で予約をされていない方は、午前中の小児科一般外来を受診してください。

### ❖ 環境整備

- \*院内の環境は時間を決めて消毒を実施しています。
- \*院内の換気は適切に行っています。窓を閉めていても空調管理システムにて24時間換気しています。

### ❖ 職員の体調管理

\*職員は常時マスク着用のうえ、勤務開始前の体温測定や体調把握を行っています。

### 2020（令和2）年度「聖母お元気倶楽部」 介護予防講座

## 開催中止のご案内

例年、年4回開催してまいりました「聖母お元気倶楽部」ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度中は院内開催が困難となりました。安全に開催できるようになりましたら、またご案内させていただきます。皆様がお元気で過ごされていることを、スタッフ一同祈っております。

また  
お会いできる日を  
楽しみに……



## 編集後記

毎週日曜に楽しみにしているテレビ番組“笑点”を視聴していたところ、出演者それぞれがリモートで番組に参加し、“リモート大喜利”として放送されておりました。新型コロナウイルスがもたらす影響であり、環境の変化の一つですね…

私たちの身の回りにおいても、リモートワークや会議、リモート飲み会と「新しい生活様式」が常態化しております。社会の価値観や変化、そして時代の移り変わりを感じる今日この頃です。 T.O